

南アルプス「南部」

「南信署」風景紀行が連載され三年目を迎える今回、図らずも二回目の投稿が当署に回ってきました。



兎岳から見た赤石岳



南アルプスの特産種タカネビランジ

この二年の間に、管内では市町村合併があり、町村数が五つ少なくなりました。南アルプスを取り巻いていた長谷村、高遠町は伊那市に、上村、南信濃村は飯田市に合併となりました。

また、最近の話題としては、南アルプスを世界遺産に登録しようとの動きが出てきております。

二月末には静岡、山梨、長野三県の世界遺産登録推進協議会が発足する模様です。

管内国有林七万二千餘のうち四万二千餘を占める南アルプス山系は多くの美しい山々があり、深山幽谷というにふさわしいところもいくつかあります。

前回の「巫女淵」に続き、この赤石山

脈の南部遠山谷地区について紹介させていただきます。

遠山谷を短時間で目にするには、車で飯田市上村のしらびそ高原に行くのが早いと思います。峠に出たとたん到大パノラマが広がります。

そこから徒歩四時間で尾高山風景林まで往復できます。そこでは尾根を挟んで大鹿村の谷間も見ることができ、さらにアルプスの大きさを実感できると思います。

遠山谷の主な峰を見ますと、南から、池口岳(二、三七五)、加加森山(二、四一九)、光岳(二、五九一)、茶白岳(二、六〇四)、上河内岳(二、八〇三)、前聖岳(三、〇一三)、兎岳(二、八一八)、大沢岳(二、八一九)、奥茶臼山(二、四七三)、尾高山(二、二二二)といった十座前後が挙げられます。

また、このすぐ近くには赤石山脈の由来となっている有名な赤石岳(三、一二〇)も控えています。

聖岳、兎岳、大沢岳の主要な山に向かう登山道は、長野側からは、これまで三ルートがありました。十八年七月豪雨のためしらびそ峠経由は不通となっております。現在は、易老渡口コース、便ヶ島口コースの二ルートのみとなっております。

登山口までは飯田IC又はJR飯田駅から車で二時間程度、登山口から稜線までの所要時間は一般登山者のペースで易

老渡口コースが五時間半、便ヶ島口コースが六時間半程度となっております。

このように長野県側からのとりつきは距離が遠く、標高差を一気に稼がなければならぬため、時間と労力の面で大変きついコースとなっております。

それだけに、登山者の数も比較的少なく、自然が多く残されているのも確かです。

ただ、このところニホンジカやニホンザルが二、五〇〇以上の高山帯にまで群れをなして登り、高山植物などを食べてしまう状態は、高山植物の危機ともいえる状態で早急な対策が必要です。



しらびそ高原から見た大沢岳・兎岳